記入例：新たな勤務先（事業所）で特別徴収を継続する場合

年度	1．現年度　2．新年度　3．両年度

新潟県中魚沼郡津南町長　殿 令和〇年　〇月　〇日提出	給与支払者（特別徴収義務者）	所在地	〒949-8292 新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡戊〇〇番地	特別徴収義務者指定番号：〇〇〇〇〇〇〇 宛名番号：〇〇〇〇〇〇〇
		フリガナ	カブシキカイシャ　ツナンマチ	担当連絡者先　所属：給与担当
		氏名又は名称	株式会社　津南町	氏名：津南　次郎
		個人番号又は法人番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 ←個人番号の記載に当たっては、左端を空欄とし右詰めで記載	電話：025－〇〇〇－〇〇〇〇 内線（〇〇〇）

給与所得者			（ア）特別徴収税額（年税額）	（イ）徴収済額	（ウ）未徴収税額（ア）－（イ）	異動年月日	異動の事由	異動後の未徴収税額の徴収方法
フリガナ	ツナン　ハナコ							
氏名	津南　花子							
生年月日	昭和〇〇年　〇〇月　〇〇日							
個人番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇							
受給者番号	〇〇〇〇〇〇〇		120,000 円	6 月から 9 月まで：40,000 円	10 月から 5 月まで：80,000 円	令和4 年 9 月 30 日	2（右から番号を記入）1．退職　2．転勤　3．休職・長期欠　4．死亡　5．支払少額・不定期　6．合併・解散　7．その他（事由・理由）	1（右から番号を記入）1．特別徴収継続　2．一括徴収　3．普通徴収（本人納付）
1月1日現在の住所	津南町大字下船渡〇〇〇番地							
異動後の住所	※1月1日現在の住所と違う場合に記入してください。							

1．特別徴収継続の場合

新しい勤務先（特別徴収義務者）				
特別徴収義務者指定番号	□□□□□□□（新規）	法人番号	□□□□□□□□□□□□□	新しい勤務先へは、月割額 10,000 円を 10 月分（翌月10日納入期限分）から徴収し、納入するよう連絡済みです。
所在地	〒949-8201 新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡〇〇〇番地	担当者連絡先 所属	人事係	
フリガナ	カブシキカイシャ　マルバツショウジ	氏名	津南　向日葵	受給者番号：□□□□□
氏名又は名称	株式会社　〇×商事	電話	025－□□□－□□□□ 内線（□□□）	納入書の要否（新規の場合のみ記載）：1（右から番号を記入）1．必要　2．不要

2．一括徴収の場合

理由：□（右から番号を記入）1．異動が令和　年12月31日までで、一括徴収の申出があったため

この欄は新しい事業所が記載する箇所となります。

徴収予定月日	徴収予定額（上記（ウ）と同額）
月　日	円

左記の一括徴収した税額は、□月分（翌月10日納入期限分）で納入します。

3．普通徴収の場合

理由：□（右から番号を）
1．異動が令和　年12月31日までで、一括徴収の申出がないため
2．令和　年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額（ウ）以下であるため
3．死亡による退職であるため

※市町村記入欄